

水産の窓

黒潮流路では0m深で「やや高め」、100m以深で「やや高め～高め」で推移
(令和4年10月の海況と今後の予測)

4 - N o . 1 8
令和4年10月21日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (10/15~17: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- 水温は0m深で21~26℃台、50m深で18~26℃台、100m深で14~23℃台、200m深で7~17℃台でした(図2)。
- 前月と比較すると、0m深では会瀬の141° 30' E以東で昇温傾向、鹿島~犬吠の141° 30' E以東で降温傾向となりました。50~200m深では黒潮が立ち上がったことで、概ね昇温傾向となりました(図3)。
- 平年と比較すると、0m深では概ね「平年並~やや高め」、50~200m深では141° 20' E以東の黒潮域で概ね「やや高め~極めて高め」となりました(図4)。
- 潮流は会瀬の141° 20' E以東と大洗~犬吠埼の141° E以東で真潮傾向、他で逆潮傾向となりました。

2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は21~26℃となっています(図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東40マイル、塩屋埼の東55マイルを北北東に流れています。黒潮の北限は144° E付近で37° 30' N付近まで達し、北偏しています(10月18日海上保安庁「海洋速報」より)。
- 茨城県沖で黒潮が立ち上がり、その反流によって本県北部沿岸域も暖水で覆われています。そのため、親潮系冷水の差込みがなく、平年よりも水温が高くなっています。

3 今後1か月の見通し

- 黒潮の立ち上がりは少なくとも2~3週間継続し、141° E以東を中心に、例年より水温が高くなる見込みです。
- 1か月後の0m深水温は、黒潮流路では「やや高め」、他では季節的な気温の低下に伴って降温し、概ね「平年並」となる見込みです。
- 1か月後の100m深水温は、141° E以東では黒潮の影響で概ね「やや高め~高め」となる見込みです。141° E以西でも、黒潮からの暖水の影響で概ね「やや高め」となる見込みです。

【参考】10月の0m深の平年値は、142° E以西の30年(1991-2020)間の平均水温

(定線別平年値*) 会瀬: 22~25℃台、大洗: 21~26℃台、鹿島: 23~26℃台、犬吠埼: 23~26℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

なお、11月は調査船「いばらき丸」の定期検査のため、海洋観測調査は実施しない予定です。

(回遊性資源部 小熊 進之介)

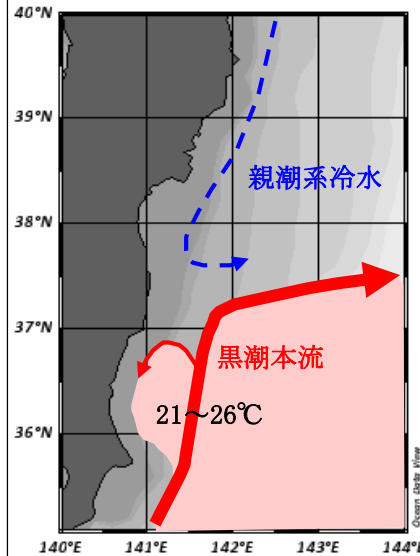


図1. 海況の現況
(10月17日)

※水温は平年値と比較して、
±1.5℃が「平年並」、
±1.6~3.9℃が「やや高め・やや低め」、
±4.0~6.0℃が「高め・低め」、
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

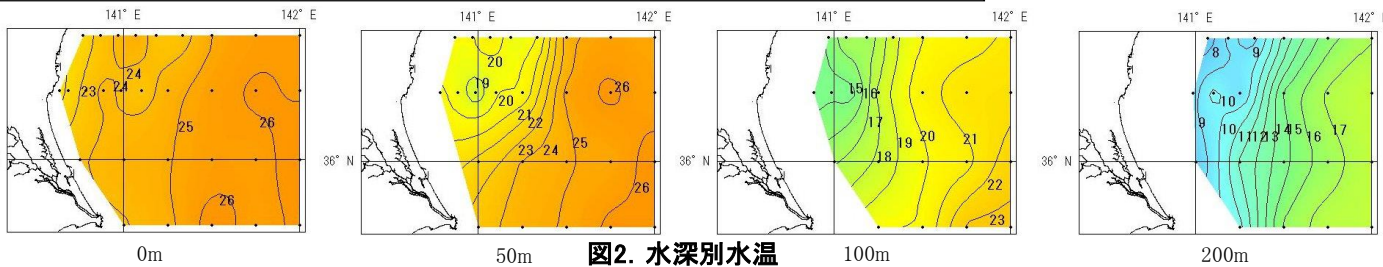


図2. 水深別水温

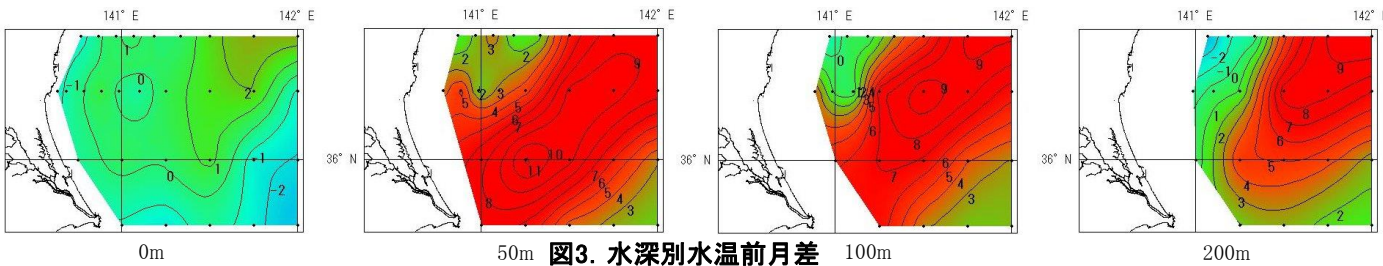


図3. 水深別水温前月差

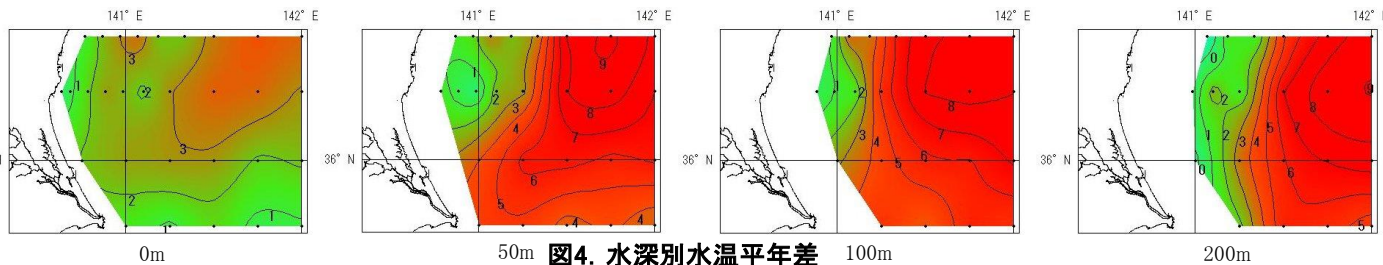


図4. 水深別水温平年差

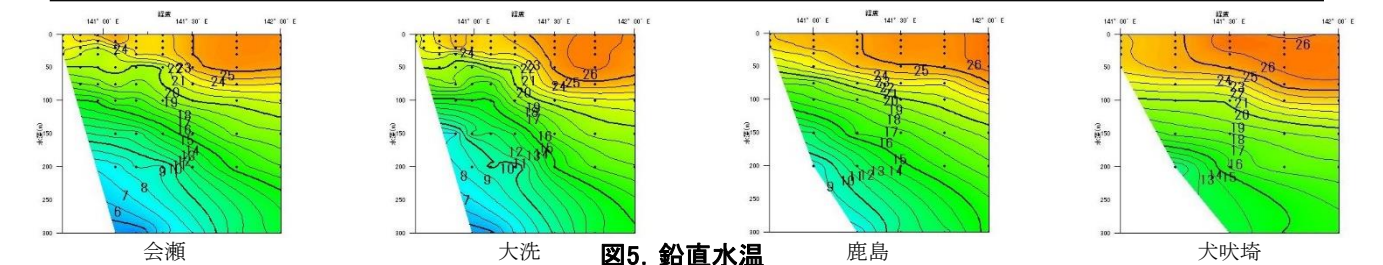


図5. 鉛直水温

【次号予告】R4.11.11.発行の「水産の窓」は、『令和4年の海況のまとめ』を予定しています。